

初級簿記 【第8回】期中仕訳(Ⅰ)

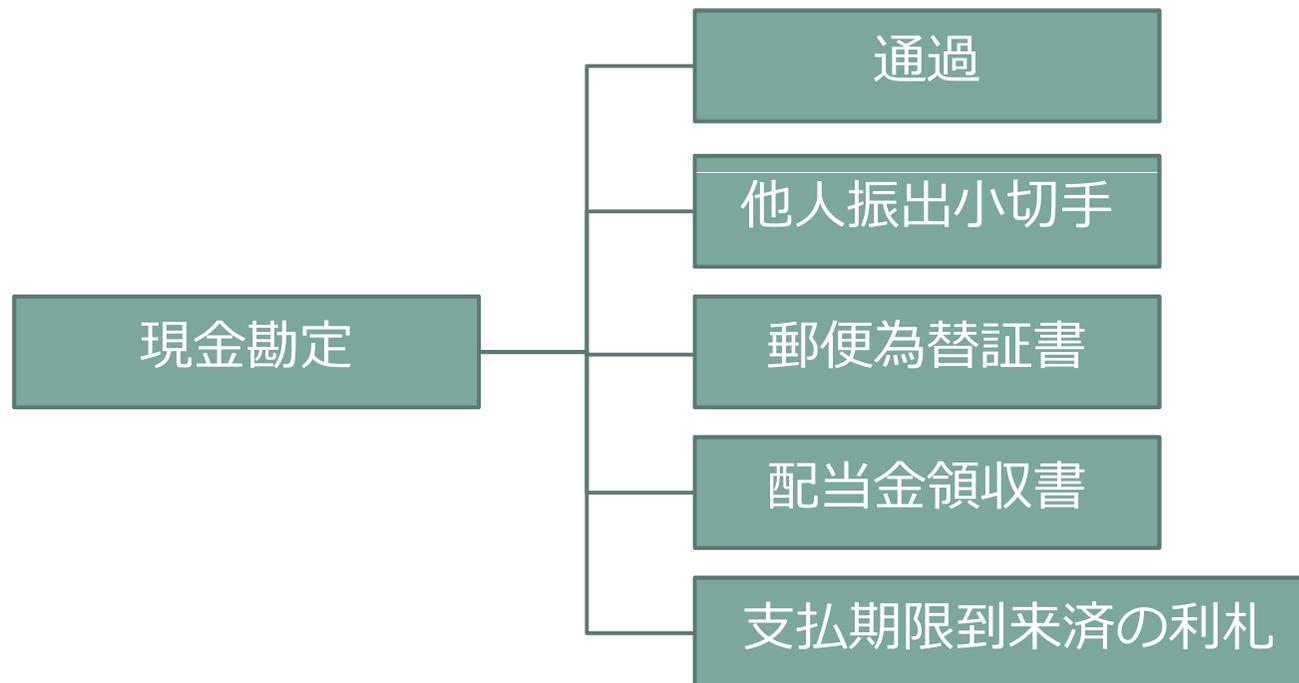
2014/05/12

1. 現金取引

3

□ 現金の範囲

簿記上の現金は通貨を主体として、下記を現金勘定で処理する。



1. 現金取引

4

(1) 売掛金の回収として、**現金**¥1,000を受取った。

(借) 現金	1,000	(貸) 売掛金	1,000
--------	-------	---------	-------

(2) 商品¥5,000を売上げ、代金として**他人振出小切手**を受け取った。

(借) 現金	5,000	(貸) 売上	5,000
--------	-------	--------	-------

(3) 相手払いの発送運賃¥1,200を立替払いしておいたが、本日**郵便為替証書**が送付されてきた。

(借) 現金	1,200	(貸) 立替金	1,200
--------	-------	---------	-------

(4) 当社が所有する株式につき、**配当金領収書**¥3,000を受取った。

(借) 現金	3,000	(貸) 受取配当金	3,000
--------	-------	-----------	-------

(5) **支払期限が到来した利札**を換金し、社債の利息¥2,000を受取った。

(借) 現金	2,000	(貸) 有価証券利息	2,000
--------	-------	------------	-------

1. 現金取引

5

□ 現金・預金取引仕訳のまとめ1 <現金>

現金の受取り：

(借) 現金	××	(貸) ○○○	××
--------	----	---------	----

現金の支払い：

(借) ○○○	××	(貸) 現金	××
---------	----	--------	----

他人振出小切手の受取り：

(借) 現金	××	(貸) ○○○	××
--------	----	---------	----

1. 現金取引

6

□ 現金過不足

現金出納帳により帳簿の在 high が明確になると、金庫の実際在 high と一致しない場合がある。この時は、**現金過不足勘定**で処理する。

1) 現金不足の発生（帳簿在 high > 実際在 high）と判明



1. 現金取引

7

(1) 帳簿在高は¥800であり、実際在高は¥600であった。

(借) 現金過不足	200	(貸) 現金	200
-----------	-----	--------	-----

(2) 上記の不一致の原因は、支払利息の記入漏れであった。

(借) 支払利息	200	(貸) 現金過不足	200
----------	-----	-----------	-----

1. 現金取引

8

2) 現金過剰の発生（帳簿在高<実際在高）と判明



1. 現金取引

9

(1) 帳簿在高は¥800であり、実際在高は¥900であった。

(借) 現金	100	(貸) 現金過不足	100
--------	-----	-----------	-----

(2) 上記の不一致の原因は、受取家賃の記入漏れであった。

(借) 現金過不足	100	(貸) 受取家賃	100
-----------	-----	----------	-----

1. 現金取引

10

□ 現金・預金取引仕訳のまとめ2 <現金>

現金の不足：

(借) 現金過不足	××	(貸) 現金	××
-----------	----	--------	----

不足の判明：

(借) ○○○	××	(貸) 現金過不足	××
---------	----	-----------	----

現金の過剰：

(借) 現金	××	(貸) 現金過不足	××
--------	----	-----------	----

過剰の判明：

(借) 現金過不足	××	(貸) ○○	××
-----------	----	--------	----

2. 預金取引

11

□ 当座預金

当座預金－引き出しには小切手がいられ、**当座預金勘定**で処理する。

(1) 手数料を支払うために、小切手¥1,000を振り出した。

(借) 支払手数料 1,000 (貸) 当座預金 1,000

(2) 手数料として小切手¥2,000を受け取り、ただちに当座預金とした。

(借) 当座預金 2,000 (貸) 受取手数料 2,000

(3) 売掛金¥50,000を以前自店が振り出した小切手で回収した。

(借) 当座預金 50,000 (貸) 売掛金 50,000

2. 預金取引

12

□ 現金・預金取引仕訳のまとめ3 <当座預金、当座借越1>

当座預金の預け入れ、引き出しの仕訳

増加： (借) 当座預金 ×× (貸) ○○○ ××

減少： (借) ○○○ ×× (貸) 当座預金 ××

小切手の振り出し、自己振出小切手の受取りの仕訳

自己振出小切手の受取り：

(借) 当座預金 ×× (貸) ○○○

××

小切手の振り出し：

(借) ○○○ ×× (貸) 当座預金 ××

2. 預金取引

13

□ 当座借越

当座借越 – 預金残高をこえて小切手を振り出したとき、その差額分を銀行が一時的に立て替えるシステムであり、このとき**当座借越勘定**を用いる。



2. 預金取引

14

1) 当座借越の発生と返済

(1) 手数料¥1,000を支払うために小切手を振り出した。なお、預金残高は¥800である。

(借) 支払手数料	1,000	(貸) 当座預金	800
		当座借越	200

(2) 現金¥500をただちに口座に入金した。

(借) 当座借越	200	(貸) 現金	500
当座預金	300		

2. 預金取引

15

□ 当座勘定による処理

一勘定制－当座預金の引出、受入、借越はすべて**当座勘定**で処理する

(1) 手数料¥1,000を支払うために小切手を振り出した。なお、預金残高は¥800である。

(借) 支払手数料 1,000 (貸) 当座 1,000

(2) 現金¥500をただちに口座に入金した。

(借) 当座 500 (貸) 現金 500

3. 小口現金

17

□ 小口現金

小口現金は経費を支払うために手もとに置いておく現金であり、**小口現金勘定**を用いる。

小口現金に関する手続き

- 1) 小口現金の設定（小切手で渡す－当座預金の減少）
- 2) 小口現金の支払報告の受取
- 3) 小口現金の補給（支払った分だけ、補給する－**インプレストシステム**）

3. 小口現金

18

(1) 会計係は用度係に小口現金として小切手¥5,000を渡した。

(借) 小口現金	5,000	(貸) 当座預金	5,000
----------	-------	----------	-------

(2) 用度係よりガス代¥3,000、交通費¥1,500、消耗品費¥200を支払った旨の報告を受けた。

(借) ガス代	3,000	(貸) 小口現金	4,700
交通費	1,500		
消耗品費	200		

(3) 本日小口現金を補給した。

(借) 小口現金	4,700	(貸) 当座預金	4,700
----------	-------	----------	-------

3. 小口現金

19

□ 現金・預金取引仕訳のまとめ5 <小口現金>

小口現金の支給：

(借) 小口現金 ×× (貸) 当座預金 ××

小口現金の支払報告の受取：

(借) (費用科目) ×× (貸) 小口現金 ××
 (費用科目) ××

小口現金の補給：

(借) 小口現金 ×× (貸) 当座預金 ××

1. 三分法

21

□ 商品の現金仕入

商品の仕入は、**仕入勘定**で処理する。

商品¥1,000を仕入れ、代金は現金で支払った。

(借) 仕入	1,000	(貸) 現金	1,000
--------	-------	--------	-------

□ 商品の現金販売

商品の販売は、**売上勘定**で処理する。

商品¥1,000を売り上げ、代金は現金で受け取った。

(借) 現金	1,000	(貸) 売上	1,000
--------	-------	--------	-------

1. 三分法

22

□ 商品売買取引仕訳のまとめ1 <三分法>

商品の現金仕入：

(借) 仕入 ×× (貸) 現金 ××

商品の現金販売：

(借) 現金 ×× (貸) 売上 ××

2. 仕入諸掛、仕入戻し、仕入値引

23

□ 仕入諸掛（現金仕入＋仕入諸掛）

仕入諸掛とは、仕入の際に要した付随費用（引取運賃、保険料など）であり、**仕入の金額に含めて処理**する。

商品¥1,000を現金で仕入れ、引取運賃¥500とともに現金で支払った。

（借）仕入 1,500 （貸）現金 1,500

□ 仕入戻し（現金仕入れの返品）

仕入戻しとは仕入れた商品を返品することであり、**仕入金額を減じる**。

品違いのため、商品¥300分を返品した（以前、現金で仕入れた）。

（借）現金 300 （貸）仕入 300

2. 仕入諸掛、仕入戻し、仕入値引

24

□ 仕入値引（現金仕入れの値引き）

仕入値引とは仕入れた商品の値引きを受けたときであり、仕入金額を減じる。

不良品があったので、¥300の値引を受けた（以前、現金で仕入れた）。

（借）現金	300	（貸）仕入	300
-------	-----	-------	-----

3. 売上諸掛、売上戻り、売上値引

26

□ 売上諸掛（現金販売＋売上諸掛）

売上諸掛は売上の際に要した付随費用（発送費、保険料など）などであり、**当該勘定（発送費勘定など）を別に設定**して処理する。

商品¥1,000を現金で売上げ、発送費¥500は小切手で支払った。

(借) 現金	1,000	(貸) 売上	1,000
発送費	500	当座預金	500

3. 売上諸掛、売上戻り、売上値引

27

□ 売上戻り（現金売上げの返品）

売上戻りは売上げた商品が返品されたことであり、売上を減じる。

品違いのため、商品¥300分が返品された（以前、現金で売上げた）。

（借）売上	300	（貸）現金	300
-------	-----	-------	-----

□ 売上値引（現金売上げの値引き）

売上値引は売上げた商品を値引したときであり、売上を減じる。

不良品があったために、¥300の値引をした（以前、現金で売上げた）。

（借）売上	300	（貸）現金	300
-------	-----	-------	-----

3. 売上諸掛、売上戻り、売上値引

28

□ 商品売買取引仕訳のまとめ3 <売上>

売上諸掛（現金処理）：

（借）現金	××	（貸）売上	××
発送費	××	現金	××

売上戻り（現金処理）：

（借）売上	××	（貸）現金	××
-------	----	-------	----

売上値引（現金処理）：

（借）売上	××	（貸）現金	××
-------	----	-------	----

1. 売掛金と買掛金

30

掛取引は商品の引渡しと代金の引渡しが時間的にずれる取引である。商品を引き渡した側は代金を受け取る権利（債権）を**売掛金勘定**で処理し、商品を受け取った側は代金を支払う義務（債務）を**買掛金勘定**で処理する。

□ 売掛金

1) 商品の掛販売

商品¥1,000を売上げ、代金は掛とした。

（借）売掛金	1,000	（貸）売上	1,000
--------	-------	-------	-------

上記、売掛金¥1,000を現金で回収した。

（借）現金	1,000	（貸）売掛金	1,000
-------	-------	--------	-------

1. 売掛金と買掛金

31

2) 掛販売 + 売上諸掛

商品¥1,000を掛で売上げ、発送費¥500は現金で支払った。

(借) 売掛金	1,000	(貸) 売上	1,000
発送費	500	現金	500

3) 掛売上げの返品

品違いのため、商品¥300分が返品された（以前、掛で売上げた）。

(借) 売上	300	(貸) 売掛金	300
--------	-----	---------	-----

4) 掛売上げの値引き

不良品があったために、値引を受けた（以前、掛で売上げた）。

(借) 売上	300	(貸) 売掛金	300
--------	-----	---------	-----

1. 売掛金と買掛金

32

□ 買掛金

1) 商品の掛仕入

商品¥1,000を仕入れ、代金は掛とした。

(借) 仕入	1,000	(貸) 買掛金	1,000
--------	-------	---------	-------

上記、買掛金¥1,000を現金で支払った。

(借) 買掛金	1,000	(貸) 現金	1,000
---------	-------	--------	-------

2) 掛仕入 + 仕入諸掛

商品¥1,000を掛で仕入れ、引取運賃¥500は現金で支払った。

(借) 仕入	1,500	(貸) 買掛金	1,000
		現金	500

1. 売掛金と買掛金

33

3) 掛仕入れの返品

品違いのため、商品¥300分を返品した（以前、掛で仕入れた）。

（借）買掛金	300	（貸）仕入	300
--------	-----	-------	-----

4) 掛仕入れの値引き

不良品があったために、値引を受けた（以前、掛で仕入れた）。

（借）買掛金	300	（貸）仕入	300
--------	-----	-------	-----

1. 売掛金と買掛金

35

商品の掛販売：

(借) 売掛金	××	(貸) 売上	××
---------	----	--------	----

売掛金の回収：

(借) ○○○	××	(貸) 売掛金	××
---------	----	---------	----

1. 売掛金と買掛金

36

□ 掛取引仕訳のまとめ2

仕入諸掛（現金支払い）：

（借）仕入	××	（貸）買掛金	××
		現金	

××

仕入戻し、仕入値引：

（借）買掛金	××	（貸）仕入	
××			

1. 売掛金と買掛金

37

売上諸掛：

(借) 売掛金	××	(貸) 売上	××
発送費	××	〇〇〇	××

売上戻り、売上値引：

(借) 売上	××	(貸) 売掛金	××
--------	----	---------	----

2. 人名勘定

38

売掛金や買掛金を**商店名で処理**する。得意先名は売掛金、仕入先は買掛金を示す。

1) 掛仕入

青山商店から商品¥300を掛で仕入れた。

(借) 仕入	300	(貸) 青山商店	300
--------	-----	----------	-----

2) 掛売上

渋谷商店に商品¥10,000を掛で売上げた。

(借) 渋谷商店	10,000	(貸) 売上	10,000
----------	--------	--------	--------

1. 掛・手形以外の債権・債務

- ・ 前払金 – 商品を受け取る前に代金の一部を先払いした額（債権）
- ・ 前受金 – 商品を引き渡す前に代金の一部を先受けした額（債務）
- ・ 他店商品券 – 券面金額を他店に請求する権利（債権）
- ・ 商品券 – 券面相当の商品を引き渡す義務（債務）
- ・ 未収金 – 本来の営業目的以外の取引で生じた未収額（債権）
- ・ 未払金 – 本来の営業目的以外の取引で生じた未払額（債務）
- ・ 貸付金 – 他人への金銭の貸し付け（債権）
- ・ 借入金 – 銀行などからの金銭の借り入れ（債務）
- ・ 立替金 – 立て替えなどから生じる一時的な貸金（債権）
- ・ 預り金 – 預かりなどから生じる一時的な債務（債務）
- ・ 仮払金 – 未確定な金額の支出（債権）
- ・ 仮受金 – 未確定な金額の収入（債務）

2. 前払金と前受金

41

□ 前払金 – 前払債権の発生と消滅

前払金は仕入代金の一部の先払いであり、**前払金勘定**で処理する。支払によって商品を受け取る権利が生じる。

(1) 債権の発生：商品¥1,000を仕入れるために、内金¥300を現金で支払った。

(借) 前払金	300	(貸) 現金	300
---------	-----	--------	-----

(2) 債権の消滅：本日商品が手もとに届き、残金を現金で支払った。

(借) 仕入	1,000	(貸) 前払金	300
		現金	700

2. 前払金と前受金

42

□ 前受金 – 前受債務の発生と消滅

前受金は売上代金の一部の先受取りであり、**前受金勘定**で処理する。
受取によって商品を引き渡す義務が生じる。

(1) 債務の発生：商品¥1,000の内金として¥300を現金で受け取った。

(借) 現金	300	(貸) 前受金	300
--------	-----	---------	-----

(2) 債務の消滅：本日商品を販売し、残金を現金で受け取った。

(借) 前受金	300	(貸) 売上	1,000
現金	700		

2. 前払金と前受金

43

□ 掛・手形以外の債権・債務取引の仕訳のまとめ1-1

前払金の発生：

(借) 前払金 ×× (貸) ○○○ ××

前払金の回収：

(借) ○○○ ×× (貸) 前払金 ××

前受金の発生：

(借) ○○○ ×× (貸) 前受金 ××

前受金の消滅：

(借) 前受金 ×× (貸) ○○○ ××

3. 他店商品券と商品券

44

□ 商品券

商品券は商品代金の先受けであり、債務として**商品券勘定**で処理する。

(1) 債務の発生：本日、商品券¥10,000を現金で販売した。

(借) 現金 10,000 (貸) 商品券 10,000

(2) 債務の消滅：商品を売り上げ代金は商品券で受け取った。

(借) 商品券 10,000 (貸) 売上 10,000

3. 他店商品券と商品券

45

□ 他店商品券

他店商品券は他店への代金請求権であり、**他店商品券勘定**で処理する。

債権の発生：本日、商品¥10,000を売上げ、代金は他店発行の商品券で受け取った。

(借) 他店商品券 10,000 (貸) 売上 10,000

3. 他店商品券と商品券

46

□ 掛・手形以外の債権・債務取引の仕訳のまとめ1-2

他店商品券の受取り：

(借) 他店商品券	××	(貸) 売上	××
-----------	----	--------	----

商品券の発行：

(借) 現金	××	(貸) 商品券	××
--------	----	---------	----

商品券の回収：

(借) 商品券	××	(貸) 売上	××
---------	----	--------	----

4. 未収金と未払金

47

□ 未収金 – 未収債権の発生と消滅

未収金は商品売買以外に生じた代金請求権(債権)であり、**未収金勘定**で処理する。

(1) 債権の発生：備品¥1,000を売却し、代金は月末に受け取ることにした。

(借) 未収金	1,000	(貸) 備品	1,000
---------	-------	--------	-------

(2) 債権の消滅：未収金¥1,000を現金で回収した。

(借) 現金	1,000	(貸) 未収金	1,000
--------	-------	---------	-------

4. 未収金と未払金

48

□ 未払金 – 未払債務の発生と消滅

未払金は商品売買以外に生じた代金支払義務(債務)であり、**未払金勘定**で処理する。

(1) 債務の発生：備品¥1,000を購入し、代金は月末に支払うことにした。

(借) 備品	1,000	(貸) 未払金	1,000
--------	-------	---------	-------

(2) 債務の消滅：未払金¥1,000を現金で支払った。

(借) 未払金	1,000	(貸) 現金	1,000
---------	-------	--------	-------

4. 未収金と未払金

49

□ 掛・手形以外の債権・債務取引の仕訳のまとめ2-1

未収金の発生：

(借) 未収金	××	(貸) ○○○	××
---------	----	---------	----

未収金の回収：

(借) ○○○	××	(貸) 未収金	××
---------	----	---------	----

未払金の発生：

(借) ○○○	××	(貸) 未払金	××
---------	----	---------	----

未払金の消滅：

(借) 未払金	××	(貸) ○○○	××
---------	----	---------	----

5. 貸付金と借入金

50

□ 貸付金 – 貸付債権の発生と消滅

貸付金は金銭の貸付による債権を示し、**貸付金勘定**で処理する。生じた利息は**受取利息勘定**で処理する。

(1) 債権の発生：現金¥1,000を貸し付けた。

(借) 貸付金	1,000	(貸) 現金	1,000
---------	-------	--------	-------

(2) 債権の消滅：貸付金¥1,000の返済を現金で受け、利息¥100も現金で受け取った。

(借) 現金	1,100	(貸) 貸付金	1,000
		受取利息	100

5. 貸付金と借入金

51

□ 借入金－借入債務の発生と消滅

借入金は金銭の借入によって生じた債務であり、**借入金勘定**で処理する。生じた利息は**支払利息勘定**で処理する。

(1) 債務の発生：現金¥1,000を借り入れた。

(借) 現金	1,000	(貸) 借入金	1,000
--------	-------	---------	-------

(2) 債務の消滅：借入金¥1,000を現金で返済し、利息¥100も現金で支払った。

(借) 借入金	1,000	(貸) 現金	1,100
支払利息	100		

5. 貸付金と借入金

52

□ 掛・手形以外の債権・債務取引の仕訳のまとめ2-2

貸付金の発生：

(借) 貸付金	××	(貸) ○○○	××
---------	----	---------	----

貸付金の回収：

(借) ○○○	××	(貸) 貸付金	××
---------	----	---------	----

借入金の発生：

(借) ○○○	××	(貸) 借入金	××
---------	----	---------	----

借入金の消滅：

(借) 借入金	××	(貸) ○○○	××
---------	----	---------	----

6. 立替金と預り金

53

□ 立替金－立替債権の発生と消滅

立替金は立替えによって生じた債権であり、**立替金勘定**で処理する。

(1) 債権の発生：従業員より給与の前借り¥1,000の要求があり、現金で立て替えた。

(借) 立替金	1,000	(貸) 現金	1,000
---------	-------	--------	-------

(2) 債権の消滅：本日給与¥10,000の支払いにあたり、立替金を差引き、残金を現金で支払った。

(借) 給料	10,000	(貸) 立替金	1,000
		現金	9,000

6. 立替金と預り金

54

□ 預り金－預り債務の発生と消滅

預り金は預かりによって生じた債務であり、**預り金勘定**で処理する。

(1) 債務の発生：従業員より旅行積立金¥1,000を現金で預かった。

(借) 現金 1,000 (貸) 預り金 1,000

(2) 債務の消滅：本日旅行業者に対して、上記の預り金を現金で納付した。

(借) 預り金 1,000 (貸) 現金 1,000

6. 立替金と預り金

55

□ 掛・手形以外の債権・債務取引の仕訳のまとめ3-1

立替金の発生：

(借) 立替金	××	(貸) ○○○	××
---------	----	---------	----

立替金の消滅：

(借) ○○○	××	(貸) 立替金	××
---------	----	---------	----

預り金の発生：

(借) ○○○	××	(貸) 預り金	××
---------	----	---------	----

預り金の消滅：

(借) 預り金	××	(貸) ○○○	××
---------	----	---------	----

7. 仮払金と仮受金

56

□ 仮払金－仮払債権の発生と消滅

仮払金は精算を前提とした概算払いであり、債権として**仮払金勘定**で処理する。

(1) 債権の発生：従業員が出張するので、現金¥1,000を交通費として概算額で渡した。

(借) 仮払金	1,000	(貸) 現金	1,000
---------	-------	--------	-------

(2) 債権の消滅：従業員が出張から帰り、残金¥300を現金で受け取った。

(借) 現金	300	(貸) 仮払金	1,000
交通費	700		

7. 仮払金と仮受金

57

□ 仮受金－仮受債務の発生と消滅

仮受金は内容不明金の受取りであり、内容判明後、再処理するので債務として仮受金勘定で処理する。

(1) 債務の発生：従業員が出張先から、現金¥1,000を送金してきた（内容は不明である）。

（借）現金 1,000 （貸）仮受金 1,000

(2) 債務の消滅：従業員が出張から帰り、送金が売掛金の回収であるとの報告を受けた。

（借）仮受金 1,000 （貸）売掛金 1,000

7. 仮払金と仮受金

58

□ 掛・手形以外の債権・債務取引の仕訳のまとめ3-2

仮払金の発生：

(借) 仮払金	××	(貸) ○○○	××
---------	----	---------	----

仮払金の消滅：

(借) ○○○	××	(貸) 仮払金	××
---------	----	---------	----

仮受金の発生：

(借) ○○○	××	(貸) 仮受金	××
---------	----	---------	----

仮受金の消滅：

(借) 仮受金	××	(貸) ○○○	××
---------	----	---------	----